

補助金チェックシート(既存)

作成年度: 令和6年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市がん患者補整具購入費補助金				補助金番号	D1-14	
所管部署	健康福祉部 健康づくり課						
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市がん患者補整具購入費補助金交付要綱						
交付の目的	がん治療による抗がん剤等の使用に伴う外見の変貌に対して、補完となる補整具の購入費用を一部助成し、がん患者の精神的なストレスや社会参加等への不安を和らげ、がん治療経験者としての生活を、今までと変わらず安心して送るための一助とする。						
補助対象経費	①ウイッグ(部分用ウイッグ、ウイッグ用保護ネット、毛付き帽子、毛付き帽子の髪、毛付き帽子の帽子、帽子を含む) 上限3万円 ②乳房補整具 A. 補整下着(下着とともに使用するパッドを含む) 上限1万円 又は B. 人工乳房・人工乳頭(乳房再建術等によって体内に埋め込まれたものを除く) 上限3万円						
補助率・補助額	その他						
交付先	対象者:①～④の要件をすべて満たす者 ①申請時に枚方市に住民票を有する者 ②がんと診断されその治療を受けた又は現に受けている者 ③対象補整具を、令和4年4月1日以降に購入した者 ④過去に対象補整具と同種の補助を受けていない者						
開始年度	令和4 年度		終期年度		年度	サンセット期日	令和9 年度末
補助金性質分類	制度的補助			団体運営補助		事業費補助	その他 ○
法令等での義務付け	なし		法令等名称				

2. 補助金の予算・決算等

(千円)					
		R3	R4	R5	R6
予算額			5,469	6,619	7,212
決算額			4,747	5,254	
特定財源	国庫支出金				
	府支出金				
	その他				
一般財源			4,747	5,254	
(件)					
交付実績			174	193	

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は「廃止」もしくは「改善」)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	がん患者が安心して生活できるように支援するものであることから、当該補助金は広く市民の利益に貢献するものである。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	当課で推進しているがん対策の推進という分野において、当該補助金交付は必要不可欠である。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	がんに罹患する市民は増加傾向であり、補助金を希望する市民も増加していることから高いニーズであることを把握している。

有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	アンケートより、当該補助金交付による効果を把握している。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	補助金の対象者は多様な治療を行い、多様な補整具を購入していることから、補助金交付が業務委託や直接執行と比較し、より適正で効果的な手法であると認められる。
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	要件に該当する市民を補助金交付対象としている。
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	補整具は高価なものもあるため、購入したものに対しての補助率を決めていないが、他市等の取組を参考に補助額を決定している。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	交付要綱に定めている。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	ホームページにて補助制度を公表している。

②補助金性質分類別の視点

[その他]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
○	他の類似制度と重複が無いか確認した。	✓	他の類似制度はないことを確認した。

③考慮すべき個別の事情

個別の事情	対応案
増加するがん患者の精神的なストレスや社会参加等への不安を和らげ、がん治療経験者としての生活を、今までと変わらず安心して送るための一助することを目的に実施し、年々交付実績も増加し、市民ニーズが高いと考えられることから、廃止等により市民生活に影響を与えることが予測される、	補助金制度変更の経過措置設定(現状のまま補助制度を継続する)

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由	がん患者が増加し、外見が変化する市民も増加することが予測され、実際年々交付実績も増加し、市民ニーズが高いと考えられるため
対応完了・廃止予定時期	